

南阿蘇村議会だより

すいげん

みなみあその今と未来を発信

令和2年
8月1日発行

Vol.50

6月定例会

- | | |
|-----------------------|---------|
| ② 「コロナに負けない支援策」 | 第2回定例会 |
| ④ 「3セク休業補償に質問集中」 | 合同常任委員会 |
| ⑥ 「ずばり村政を問う」 | 一般質問 |
| ⑩ 「震災から4年 復旧と創造的復興の姿」 | 追跡レポート |



元気にプールあそび
ボールをゲットだぜ！
(くぎの保育園)

Fight

人権啓発標語：「関係ない」 そう言う自分を 変えていこう

南阿蘇中学校3年 きのした さちほ 幸穂さん

コロナに負けない！村独自の

■一般会計補正予算は、2億4356万円を追加し、総額158億8603万円に

【令和2年第2回定例会】

6月定例会はコロナ禍を考慮し、6月9日から6月12日まで、最短4日間の会期で開催された。

令和2年度一般会計補正予算等（報告5、予算2、条例7、契約の承認2、人事3）、全19議案を原案通り可決した。人事では、固定資産評価審査員・農業委員の同意及び人権擁護委員の推薦を承認した。

特に今回は新型コロナウイルス対策で、村民の暮らしと経済を守る為に、村独自の支援策等が予算化された。一般質問には4名が登壇し（P6～9）、行政の諸問題について質問した。

【令和2年度一般会計補正予算】

主な事業

小・中学校のネット環境整備関連（※詳細は下記参照）	7725万円
宿泊支援助成事業（新型コロナウイルス対策、※詳細は下記に）	1200万円
（株）あそ望の郷みなみあそ 休業支援給付金	6000万円
農業緊急雇用促進事業（新型コロナウイルス対策）	2400万円
持続化給付金の申請手続き委託事業	200万円
阿蘇火山防災園芸対策事業（園芸ハウスの降灰対策）	2845万円
みなみあそ復興マラソン大会助成	900万円減額

「オンライン授業化も視野に、 学校現場のICT化※を加速」

国の「GIGAスクール構想」（詳細はP9）補助金を活用し、今年度当初予算では、小・中学校の校舎Wi-Fi化を予算化（5千万円）。コロナ禍を受け、学校現場のICTを前倒しで実施する為に、予算を増額。これで、オンライン授業も可能になります。

内容

- ・生徒1人1台のタブレット支給
- ・自宅用Wi-Fiルーターの貸出
- ・GIGAスクールサポーター（支援員）の配置

「村内観光業の復活に向けて、 村独自で宿泊費を半額助成」

全国で緊急事態宣言は解除されたものの、村内の観光客はコロナ前には戻っていません。

そこで、村内観光業の支援・誘客を目的に、村が宿泊費の半額を助成します。

内容

- ・熊本県民が対象
- ・村内での宿泊費の1/2（上限5000円まで）を助成します
- ・村内店舗で使用可能な商品券1000円分を進呈

※ICTとは…Information and Communication Technologyの略。情報通信技術のこと。

学校現場のICT化とは…高度に発達したテクノロジーを利用し、より効果的に教育を行おうとすること。

支援策、全会一致で議会承認



「新たな農業担い手の機会に」 **2400万円**
 時給 900円以上で農業従事者を雇用した場合、
 賃金の 2/3 を村が助成 (7/1 ~ 11/30 までの期間)



「持続化給付金の申請書類はお任せください!」
 熊本県行政書士会阿蘇支部へ業務委託 **200万円**



長引く降灰で傷む園芸ハウス (白川地区)
 811 棟に半額補助 **2845万円**



「ハーフは中止、村民対象の3キロのみ」
 第2回復興マラソン大会は、規模縮小へ

【令和2年 第2回臨時会 (5月25日)】

『新型コロナへの支援策、白水地区統合小の校舎改修工事契約を議会承認』

議案	審議内容
承認第11号	専決処分事項の承認を求めることについて (令和2年度一般会計補正予算(第1号)の報告)
議案第59、60、61号	工事請負契約の締結 (統合白水小学校大規模改修(建築等)/(電気機械)/(第2体育館))

審議の結果、全会一致で原案可決

上程された15議案を議会で審議。新型コロナウイルスへの対応等の予算を含む「令和2年度一般会計補正予算」は、11億6560万8千円を追加し、総額で156億4247万8千円に。

- ・ 国からの特別定額給付金事業 10億4170万円
- ・ 商品券事業(新型コロナ対策) 5724万円
- ・ 商工業者支援金(//) 3800万円
- ・ 今年度の学校給食無償化(//) 1345万円

移住定住促進住宅管理条例の制定について

入居者公募の例外とは

〈太田議員〉

条例内に公募の例外とあるが、どのようなケースを想定しているのか。

〈次世代定住課長〉

熊本地震によって、村外に 1 回出た方を優先的に取り上げる。救済するために設けている。

〈桐原議員〉

空き家住宅入居者選考委員会とあるが、メンバーはどうなっているのか。

〈次世代定住課長〉

現在まだ設置していない。喜多堤近くの村有地に 3 戸、下野山田の木造住宅を移設予定で 12 月の完成を目指している。そのころ設置を考えている。

〈今村竜喜議員〉

管理業務の委託先として候補はあるのか。

〈次世代定住課長〉

村営住宅では村職員が管理業務を行っているが、移住定住促進住宅については民間委託が費用対効果に合うのか検証したい。委託先はまだ決定していない。



移住定住促進住宅の建設予定地（喜多区）

令和 2 年度一般会計補正予算

震災記録発信のやり方は

〈栃原議員〉

震災記録の作成委託料で発信はどのようなやり方をするのか。

〈復興推進課長〉

テレビ放映を 30 分 1 本と県庁ロビーでの発信スペース、並びにホームページ等でミニ版を作成し発信していく。

第 3 セクター再開後の計画は

〈笠野議員〉

第 3 セクターへの補助交付金 6000 万円について、再開後の事業計画等はあるのか。

〈産業観光課長〉

休業要請をしている間、職員はテレワークというかたちで自宅待機になった。再開後は、感染防止を前提にバーベキューガーデン等の取組を計画している様である。詳細については把握していない。後日報告する。

〈橋本議員〉

補助交付金 6000 万円。積算の根拠は。

〈産業観光課長〉

4 月 10 日より 5 月 6 日まで村が第 3 セクターに休業要請をかけ、施設すべてを閉鎖した。その間の減収が約 1 億円。特にゴールデンウィーク期間中だけで 6000 万円となり、まずはこの期間の減収分ということで算定している。

〈橋本議員〉

第 3 セクターだけが優遇されているような気がする。民間企業も大変な目にあっていることを肝に銘じてほしい。

〈桐原議員〉

この先も厳しいのではないかと思います。これからも補填していくのか。一般財源でダメージが大きくなるのでは。

〈産業観光課長〉

5 月 18 日からすべての施設が再開し、約 50% まで回復している。これから夏場に向け誘客は回復してくると考える。今後、営業努力についてもしっかりと指導していく。

〈村長〉

第 3 セクターは指定管理料が年間 7000 万円弱で 10 年契約だが、互いに協議の上見直すことができる。施設によっては民間に運営を任せる等、知恵を絞って努力していきたい。

火山防災対策とコロナ対策事業とは

〈工藤議員〉

①阿蘇火山防災園芸対策事業の内容と②新型

新型コロナウイルス対策事業緊急雇用促進事業の具体的な取り組み方法は。

〈農政課長〉

- ①降灰対策による農業用被覆資材への補助であり、受益戸数75戸、811棟。半額補助で2845万円計上している。ほとんどが国庫補助金である。
- ②新型コロナウイルス感染拡大の影響で仕事を失った方等を農業作業員として雇用し、時給900円以上を支払うことを条件に時給600円、月額96000円を上限に補助を行うもので、農家の人手不足の解消を目的としている。期間は7月1日から11月30日までである。将来就農に繋がればと考える。

新型コロナ対策宿泊事業とは

〈今村竜喜議員〉

新型コロナ対策宿泊事業の説明を。

〈産業観光課長〉

熊本県民を対象に1人当たり宿泊料の2分の1、5000円を上限に補助するもので、併せて村内事業者への活動支援として、村内の店舗で使える1000円分の商品券を配布する。対象人数はそれぞれ2000人分、総額1200万円である。

200万円の減額は

〈今村輝宏議員〉

きらめく地域支援事業での200万円減額は。

〈政策企画課長〉

事業申請が上がっていた5団体が、新型コロナウイルス対策で事業を見合わせたいということで、特例で来年度事業を行うことになった。

その他

故長野貞春氏の功績に対して村は

〈後藤議員〉

村に大変貢献された長野貞春氏のご逝去に伴う村の対応は。

〈政策企画課長〉

平成20年から3年かけて1万5000本の桜を寄附していただいた。そのうち、アスペクタに

現在6700本植えてある。案内看板の設置を予定している。また、村広報7月号に貞春氏の功績を特集して掲載する。

〈村長〉

コロナ禍が落ち着き次第ご挨拶に伺う。村の記念品等思い出に残る品を贈りたい。また、桜公園を村の名所となるよう取り組んでいきたい。

観光客増に伴う村の対策は

〈笠野議員〉

8月には豊肥本線の全線復旧、秋には国道57号、二重峠トンネル、来年3月には新阿蘇大橋も開通し観光客も増えると考え。駐車スペース等、村の対策は。

〈村長〉

あそ望の郷の機能拡張で駐車場の整備は考えているが、西部地区での観光客増は予想される。新阿蘇大橋付近に1カ所、大学の震災遺構は県と協議しながら、そして登山道吉田線の夜峰下のヘアピン辺りも考えている。これからしっかりと検討していく。



JR 大規模崩落地付近の復旧状況

その他の質問

〈笠野議員〉

- ・消防ポンプ積載車購入費の内訳は

〈今村竜喜議員〉

- ・復興マラソン大会予算減額の説明を

〈今村輝宏議員〉

- ・感染予防に配慮をしながらイベントの計画を

〈山室議員〉

- ・豊肥本線開通後、ゆるっとバスはどのような

ここが聞きたい

ずばり村政を問う！

一般質問は、会議録に基づき、質問者本人が編集し、議会広報特別委員会で構成し、掲載しています。詳細は、会議録の閲覧ができます。



一般質問

ここが聞きたい ずばり村政を問う！

笠野 真喜議員

休校中の子どもたちのケアは

笠野議員

3月初めから5月末といえば、卒業・進級・進学と一番大事な時期であり、心の準備も出来ないまま休校に入った。友達に会えないストレスを抱えたまま新学期が始まり、またクラスメイト・担任の先生など分からないことが多い環境で精神的に不安定になっていた。テレビ・新聞で新型コロナウイルスのことを聞かされ、不安を抱えての休校期間中、学校としてどのようなケアをしていたのか。



コロナ対策を行った学校現場

先生が家庭訪問で対応した

教育長

心配された心のケアは長引く臨時休業で、学校に脚が向かなくなるのではとの心配があった。学校からは登校日ごとに欠席理由を付け、出席状況の報告を受け、当初見られた「新型コロナウイルス感染が心配」という理由も徐々に減ってきている。不登校傾向と判断される子どもたちは先生方が家庭訪問等で対応している。特に心のケアが必要と判断された場合は関係機関と連携して心のケアに努める。

子ども公園、その後どうなっているのか

笠野議員

若い世代が子育てしやすい環境整備が必要だと考え昨年の6月定例会で、村の遊休地・施設を活用した子ども公園・広場の整備を提案した。

これを受け村長は「子どもたちが安心安全で遊べる場所をあそ望の郷の一角で」と答弁。また、「本村にふさわしい公園は何か、位置、周辺環境など勘案したい」とも答弁していたが、その後どうなっているのか。

安心して遊べる場所を計画どおり進める

村長

子育て支援センターの「わくわく広場」を旧久木野庁舎に移設し、また、あそ望の郷の一角に子どもたちが安心して遊べる場所の確保については、計画どおりに進める。今後は、子育て世代や転入を検討している方々に対し、親子で体験できる場所の紹介、自然の中で伸び伸びと過ごせる空間や場所、自然を生かすことがふさわしい公園の姿だと考えている。



その他の質問

8月8日に豊肥線が開通するが、立野駅までの通学手段はどのように考えているか。

太田 吉浩議員



行財政改革、 この半年間の進捗は

太田議員

今回の新型コロナウイルスで、1億円規模の緊急対策事業を迫られたが、その財源は財政調整積立金だ。緊急時に、村民の暮らしを守るためには、自前の蓄えが必要だ。

しかし、熊本地震を経験した本村の財政は大変厳しい。村の借金である地方債残高は令和2年度末で約243億円と、震災前と比較して1.5倍に増加している。一方、大きな収入源である国からの普通交付税は減額傾向にある。行財政改革(行革)で経常経費や既存事業を見直さなければ、新たな政策投資や財源確保の余裕も出てこないのではないか。

前回12月の質問から半年間の取組状況、取組内容と数値目標は。

担当職員を置き、 現在も検討している

村長

今年度、担当職員を配置し、検討を行っている。現在、(1)業務の効率化と職員定員の適正化、(2)行政事務や公共施設の民間委託・民間譲渡の推進、この2つの方向で検討している。今年度中に計画を策定し、その中で数値目標を示したい。

既存事業を取りやめるにも、民間委託を進めるにも、村民の理解が必要。方向性が固まり次第、行政改革推進委員会を立ち上げ、諮問を行いたい。

熊本地震で、本村はマイナスからのスタートになった。大型工共事業はスタートラインにつく為に必要なことだ。

財源確保の為に、 大型事業の見直しは

太田議員

痛みを伴う行革を担当職員任せにしたり、今から推進委員会を設置して、どれだけ進むのか疑問だ。行政を預かる村長のトップダウンで断行しなければ、膨らんだ予算は削減できるはずがない。

新型コロナウイルスは長期化も予想される。その対策事業の財源確保として、今年度予算化された億単位の大型事業を見直す考えはないのか。

木の香湯温泉、 今年度の入札は見送りたい

村長

熊本地震で行政需要が膨れ上がり、経常収支比率や起債残高が上昇しているのは事実だ。今後、財政健全化の為に、あらゆる手段を検討しながら、政策目標を達成すべく改革に取り組む。

現在、新型コロナウイルス対策事業費等は、基金を切り崩して財源にしているが、国からの地方創生臨時交付金で戻ってくるだろう。よって、村の財政負担は大きくない。

太田議員

では今年度予算化した木の香湯温泉は、予定どおり、予算執行するのか。

村長

木の香湯温泉は改修が完了しても、新型コロナウイルスの影響で、その後の維持費・運営費の財政負担が見通せない。よって、民間委託や民間企業の保養所としての活用を考えたいが、現段階では改修しても、民間委託等が進むとは考えにくい。よって、今年度の入札実施を見送りたい。



今村 輝宏議員

耕作放棄地を活用する政策は

今村議員

新型コロナウイルスは、さまざまな価値観を変える可能性があるなか、日本の農業を再度見直す時期にきていると思う。現在の農業経済で近々に食料危機といった状況にはおちいらぬもの、今後世界情勢に伴い食糧難の時代がくると考える。この要因のひとつは、世界からの輸出規制である。

2017年度の食料自給率を見ると、米は100%、野菜やいも類、卵などは80%に近い自給率で高い数字ではあるのに対し、果実や大豆、小麦等はかなり低い数字が出ている。特に小麦14%、大豆7%は、ほぼ外国産に頼っているのが数字でも明らかである。戦後の食料自給率が88%だったのにくらべ現在は総合自給率38%であり、外国からの輸入の規制等があると考えれば食料危機はまめがれないといった結果が懸念される。

村の基幹産業は、農業と観光である。今回の新型コロナウイルスの動向を考えると、特に一次産業の大切さが求められる時である。現在の作付面積の拡大、また耕作放棄地開拓による作付面積の拡大を実施する政策を考えてはどうか。耕作放棄地が100ha以上あると聞いている。国土保全の意味合いとしても開拓を行うべきであり、新規就農者また企業参入等も視野に入れ、農地の斡旋を手掛けていくような政策を検討するべきだ。

- 耕作放棄地の集積・集約化
- 新規就農者及び企業への耕作放棄地斡旋事業
- 村で収穫された農産物の販売促進事業等を検討頂きたい。

多様な事業取り組みを図る

農政課長

村の耕作放棄地の現状は、再生利用が可能な荒廃農地が約52ha、困難と見込まれる荒廃農地が約39haと年々増加傾向にある。

平場での遊休農地は解消に努めているが、山に近い農地は、山林や原野化しており再生が物理的に困難である。また営農や生産が見込めない農地も実際にあり、担い手不足の現状から解消していない状況である。

平成30年に耕作放棄地の解消事業として、農家が継続的に営農を行い、かつ農地を守ることを目的にスライドモアを2台購入し、令和元年度実績で2.3haの解消を行っている。また、「農業緊急雇用促進事業」で、新型コロナウイルス感染拡大の影響で失業した方を、農作業員として支援、また雇用促進や担い手不足の解消に取り組んでいる。



耕作放棄地解消に向けて作業中

農産物販売促進事業は、南阿蘇村農産物のブランド戦略の一つと考える。安心安全な農産物をオンライン農産物特設サイトから、消費者が農業生産者から直接購入できる仕組みを構築することで農業生産者に大きな利益をもたらすと考える。農産物の安定供給、流通販売などJA等関係機関と連携を図りながら検討していく。

今後は、新規就農者及び新規参入企業等を活用した斡旋事業、村内農業の基盤である農地を確保していき、農産物の安定供給、自給率向上に向け、県や国の事業等を活用しながら耕作放棄地解消に取り組んでいく。

橋本 功議員



学校再開と今後の対応は

橋本議員

- ①休校期間から解放されて、6月1日から学校再開となった。失われた授業時間確保はできるのか。
- ②学校は密閉、密集、密接が発生する典型的な環境である。文科省は感染者が少ない地域では、40人学級でも授業が可能としているが、「3密」についての取り組みは。

長期休業日の短縮と 学校行事の精選で可能

教育長

- ①新型コロナウイルス感染防止のため、3月2日から24日までを臨時休校にした。学習指導要領で示されている指導内容は終了している。週1回の登校日を設けるなどして工夫を凝らしたので、大幅な遅れはない。新年度は4月14日から5月31日までを臨時休校としたので32日間の授業ができなかった。回復については、長期休業日を短縮し(下記の通り)、22日間の回復処置を行う。

夏季休暇期間	8月8日～8月16日まで →定例会後に変更(8日～18日まで)
冬季休暇期間	12月26日～1月6日まで

残りの10日間については、学校行事の精選、指導計画の見直し等で補いたい。

- ②「3密」回避策として教室における座席の配置、近距離での接触について注意が喚起されている。学校施設の構造からして少人数に分けることは不可能だ。感染症対策を講じながら「3密」状態を回避し、安全、安心な学校生活が送れるように指導している。



タブレットのイメージ

※ GIGA スクール構想とは…

義務教育を受ける児童生徒のために、1人1台の学習者用PCと高速ネットワーク環境などを整備する5年間の計画

GIGA スクール構想計画は

橋本議員

- ①小中学校の無線 Wi-Fi 環境整備が進められているが、ICT 教育環境整備の進捗状況は。
- ②今年度、児童生徒に1人1台のタブレットが整備される。ICT 支援員のサポート体制強化が求められるが、教育委員会の判断は。
- ③電子黒板の活用からタブレットパソコンが配置された教育に進んでいるが、ICT教育ビジョンは。
- ④ GIGA スクール構想^{*}とは端末と高速ネットワーク環境などを整備する計画だが、どのように行っていくのか。

1人1台のタブレットを 夏までに実現

事務局長

- ①今年度当初に小中学校無線 Wi-Fi 環境整備費5千万円を計上し、全学校のネットワーク環境整備を行っている。
- ②小中学校教育関係ネットワークについては ICT 支援員を配置する業務も含まれており、7月から週4回各小中学校を巡回することになっている。学校全体のバランスを十分勘案しながらサポート体制整備強化に努める。
- ③第2次南阿蘇村教育大綱を策定し、村の目指すべき教育の実現に取り組んでいる。その大綱は ICT 環境を利用した授業実施、安全で快適な学校施設の整備を図り、学校、家庭が連携して取り組んでいくためには、ICT環境の施策を展開して行く。
- ④ GIGA スクール構想では、ハード・ソフト・人材を一体とした整備を加速することで、緊急時においても ICT の活用により、子どもたちの学びを保障できることが打ち出されている。文科省のガイドラインに沿って、1人1台のタブレットを夏までに実現する。また、学校からの遠隔学習機能の強化で、臨時休業等の緊急時に学校と児童生徒がやりとりできる通信整備を行っている。



見えてきた創造的復興の姿

平成 28 年 4 月の地震災害からの復旧、創造的復興の姿が確実に見えてきました。被害の大きかった村西部地区（阿蘇地域と熊本都市圏をつなぐ大動脈）の将来をレポートします。

標高 754m パノラマテラス（大展望所）



パノラマテラスからの眺め
（真下の新阿蘇大橋や旧東海大学阿蘇校舎）

阿蘇外輪山の大规模斜面崩落で被害を受けた国道 57 号、北側復旧ルート（阿蘇赤水ー大津町引水 約 13km）も令和 2.10 月に開通予定。

立野駅（JR・南鉄） JR 豊肥本線

令和 2.8.8 肥後大津ー阿蘇(27.3km)
4 年 4 カ月ぶりに運行再開！

南阿蘇鉄道 （高森ー中松間を運行中）

現在、立野ー長陽の第一白川橋梁架け替え工事中であり、令和 5.8 月の全線再開を目指している。

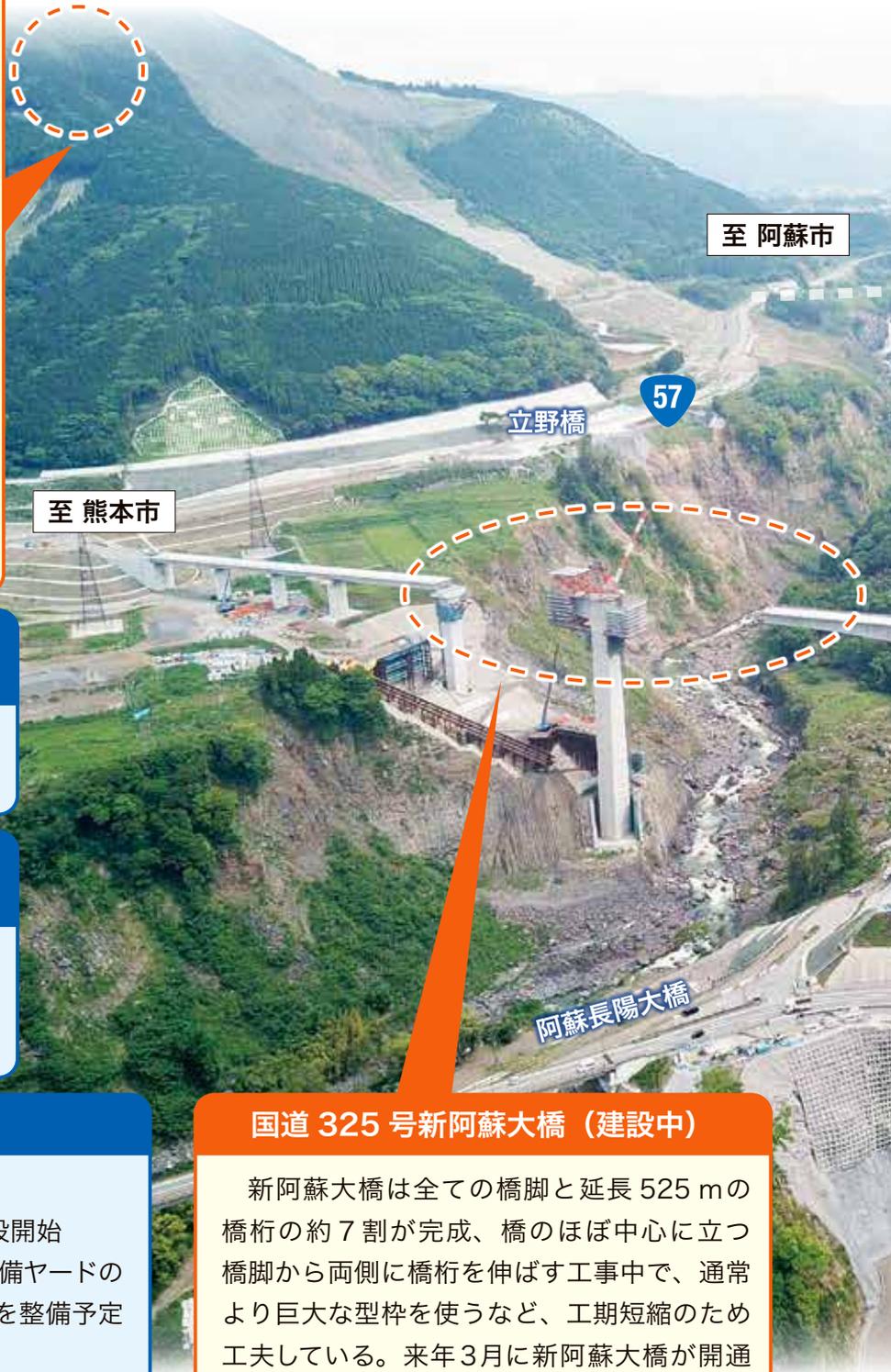
阿蘇立野ダム（建設中）

平成 30.8.5 ダム本体工事着工
令和 2.10 月よりコンクリート打設開始
令和 5.3 月完成を目指す。村は仮設備ヤードの跡地を活用し、立野ダム駅（新設）を整備予定（強く要望中）。

国道や鉄道が近くに整備されており、全国でも数少ない立地条件である。

国道 325 号新阿蘇大橋（建設中）

新阿蘇大橋は全ての橋脚と延長 525 m の橋桁の約 7 割が完成、橋のほぼ中心に立つ橋脚から両側に橋桁を伸ばす工事中で、通常より巨大な型枠を使うなど、工期短縮のため工夫している。来年 3 月に新阿蘇大橋が開通すれば、応急復旧で活用している長陽大橋ルートの本復旧となる。



至 阿蘇市

57

立野橋

至 熊本市

阿蘇長陽大橋

震災遺構（熊本県整備）



震災遺構（旧東海大学阿蘇キャンパス）

地震の記憶や経験、教訓を風化させず県内外で広く共有し、今後の災害に生かそうと「熊本地震ミュージアム」の実現に向けて取り組んでいる。

形態は広範囲に点在する震災遺構や情報発信拠点などをつないで巡る「回廊形式」で、名称は『熊本地震 記憶の回廊』

ワンピースの「麦わらの一味」 考古学者ニコ・ロビン像（令和2年度中に設置完了予定）

高野台防災公園



村営高野台団地に備蓄倉庫や耐震性貯水槽を備えた防災公園。面積は7,160㎡ 車中泊を想定で約100台の駐車スペースを設けた。中央の倉庫では毛布や保存食を保管。地下にある貯水槽は避難者500人が3日分に当る約40t貯水可能。非常時にトイレやかまどとして利用できるベンチも17脚備えている。

新阿蘇大橋展望所（整備中）

新阿蘇大橋の河陽側に交流館1棟、駐車場30台×2ヶ所を整備する。交流館は仮設住宅のみんなの家を移築再建、トイレも設置。駐車場は道路南側（北向き山側）と南阿蘇橋側に整備、道路を挟んだ駐車場を結ぶため新阿蘇大橋の下に歩道を設置。新阿蘇大橋も真下から見ることも可能。

交流施設と災害公営住宅（旧長陽西部小跡地）

住民の意思の集約や復興イベント等の実施に取り組む有志団体「すがるの里」が発足。復興弁当の提供をとおした東海大学生との交流や、視察団体等への震災体験を伝える取組等が開始されている。

村のがまだしモン^{No.20}

本村で活動している
「※地域おこし協力隊」のメンバーをご紹介します。

※人口減や高齢化が進む地方で、都市部の人材の定住・定着を促し活性化を図る目的で、2009年度に創設。任期は最長3年で、年間の報酬と活動経費は、国から支給される。



つちや けんじ
土屋 研二さん



なかにし みゆき
中西 美由紀さん

自己紹介をお願いします。

名古屋市から来ました。元舞台俳優で、全国旅公演をしたり、帝国劇場や博多座の舞台にも出演していました。介護の資格もっていて大工の経験もあります。

山口県下関から来ました。以前は、ハウスメーカー勤務、バスガイド、災害ボランティアもしていました。南阿蘇村には、バスガイド勤務時によく来た記憶もあります。熊本地震後は、災害ボランティアでも来ました。村に縁があります。

南阿蘇村地域おこし協力隊に応募された理由は。

募集内容に移住定住促進プロジェクトがあり今まで培ってきた経験を活かせると思ったこと、また、南阿蘇の景観も好きで移住希望もあり応募しました。

以前ハウスメーカーに勤めており、アフターフォローなどの活動もしていたため、今回の移住定住支援に役立つのではと思い応募しました。



南GO!! Station
(庁舎西側)

仕事内容を教えてください。

令和2年5月より開設された「南GO!!ステーション」にて空き家空き地バンク業務や空き家の発掘であったり、移住定住交流会の開催等の業務に携わっています。

南阿蘇村の住み心地はどうか、活動を通じて、どのような村にしたいですか。

現在、河陽の築80年の畑付き古民家に住んでおり、ご近所さんにもお手伝い頂きながら、初農業にも挑戦しております。村民の温かさ、また南阿蘇の良い環境を感じながら家族(妻・息子)と楽しく過ごしております。現業務で新たに移住して頂く方に、南阿蘇村の良い所などをお伝えしながら定住者増に今後も誠心誠意取り組んでいくとともに、仕事以外でも自分自身の経験を活かし、南阿蘇村の活性化に尽力して参ります。

現在、河陽の喜多地区に住んでいます。農家のお手伝いに行ったり、地域の伝統継承“しめ縄作り”をご指導頂いたりもしました。農業をしたい意向もあり、現在の仕事もしながら初農業にも挑戦したいです。その中でシェア畑を開発したり、農業の新しい取組みを地元の方と話をしながら進めていければと思っています。

今後、移住者へのサポートまたアフターフォローにも誠意をもって取り組み、また農業を通じて移住者と一緒に基幹産業の活性化を目指します。

取材者 今村 輝宏 委員

編集後記

熊本県南地域で、甚大な豪雨災害が発生しました。被災された方々には、心からお見舞いを申し上げます。本村も平成24年7月に九州北部豪雨、平成28年4月には熊本地震を経験しました。この時のご支援を思い出し、行政・議会・村民がそれぞれの立場で恩返しが出来ればと考えています。一日も早い復旧を心からお祈り申し上げます。

また日頃より、議会広報誌「すいげん」をお読み頂き、ありがとうございます。村政の今と議会の議論内容を村民の皆様にお届けしたいと、先輩議員が発刊した弊誌も創刊から12年、今回で50号を迎えました。私も議員1期目から編集作業に携わり、今年で7年が過ぎました。複雑な予算内容や分かりにくい議会用語を出来るだけかみ砕きながら、正確さを第一に取り組んで参りましたが、我々の任期も早いもので、残り半年余りとなりました。最後まで初心を忘れず、村民の皆様から手に取って頂ける議会広報誌づくりに精進して参ります。

太田 吉浩

議会広報特別委員会

委員長 丸野健一郎
副委員長 太田 吉浩
委員 笠野 真喜
// 今村 竜喜
// 栃原 辰郎
// 今村 輝宏

発行責任者

議長 荒牧 俊一